

令和4年1月28日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 坪井 七夫
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 深澤 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2020年度（令和2年度）特別養護老人ホームの経営状況に関するリサーチレポートについて

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について集計・分析しています。

このたび、2020年度（令和2年度）の特別養護老人ホームの経営状況について、リサーチレポートをとりまとめました。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r3/>

リサーチレポートの概要

- 2019年度・2020年度の経年比較
 - ✓ 介護職員処遇改善加算の算定が進み利用者1人1日当たりサービス活動収益は上昇したものの、短期入所の利用率の低下や人件費率の上昇により赤字施設の割合は若干増加
- 規模別・黒字赤字別比較
 - ✓ 規模別比較では例年同様、小規模施設のサービス活動増減差額比率が低かった
 - ✓ 黒字施設と赤字施設の比較においては、利用率のほか従事者の配置人数に差がみられた
- 新型コロナウイルス感染症の経営への影響
 - ✓ 従来型、ユニット型ともに約4割の施設が新型コロナウイルス感染症の経営への影響があったと回答した。影響があったと回答した施設においては特に利用率の低さが目立った

以上